

かはづ通信

2017年4月23日

vol. 117

新緑真っ盛り号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

5/21(日) 北川クリーンアップ 川掃除をお手伝い下さい



報告 今年も「春のうららかウォーキング」を応援

3月18日(土)、西武・狭山丘陵パートナーズの主催で「第7回春のうららかウォーキング」が行われました。北川かっぱの会もこれに協力し、北山公園の自然ガイドを担当しました。

当日は、春の訪れが感じられる気持ちの良いウォーキング日和でした。最後のポイント地点である北山公園には、11時頃からウォーカーが到着し始めました。

かっぱの会では、北川や北山公園しょうちゃん池で採れた魚などを展示しました。元気に泳ぐギンブナ、タモロコ、モツゴ、小さなクサガメ、大きなウシガエル、アカガエルの卵、オオフサモなどの前に、自然とたくさんのウォーカーの方々が集まって来ました。水槽をのぞき込みながら、いろんな質問なども飛び交い、来場者の皆さん達と楽しく会話することができました。

私は今回が初めての参加でしたが、娘達と一緒に北川や北山

公園の豊かな生き物達を楽しみ、皆さんとの会話のやり取りなどにも加わって楽しむことができました。

12時頃からはガイドツアーがスタートしました。3回で合計約30名の方々が参加されました。北川かっぱの会のガイド役が、しょうちゃん池（魚や鳥、外来生物など）、魚道（北川の魚、魚道の意義、遡上する魚、東京湾のアユが遡上する夢など）、親水広場（自然護岸の意義など）、菖蒲田木道（八国山の景観、雑木林、しょうぶまつりなど）などについて話しました。熱心に聞かれていたウォーカーの皆さんは、地域の環境保全の意義についても理解を深めて頂けたことと思います。

当日、たくさんのカンパも頂きました。心より感謝申し上げます。（藤美）

報告 狭山公園湧水の池生き物調査

3/12（日）午前、狭山公園パークセンター実施の「狭山公園湧水の池」の生き物調査に参加してきました。北川かっぱの会や狭山公園友の会のメンバーなど約



10名で、水の中の生き物を中心に調査し、あわせてクレソンの駆除、池の改良作業などを行いました。

湧水の池は宅部池から道をはさんだ多摩湖側にあります。目の前が崖で湧水が出ています。ちなみに、宅部池、北川の源流部分の湧水もすぐ近くです。

常に湧水で池には水がありますから生き物たちの絶好の環境となるはずです。ホタルやトンボ、その他の生き物が生息しやすい環境づくりを行っていくための基礎的なデータをえることが目的で、あ

わせて駆除や池の改良をしました。

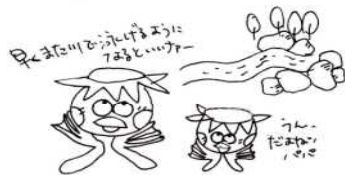
晴天の下で、楽しみながら作業をすすめることができました。ヤゴ類が少なく、またアメリカザリガニが幅をき

かせている印象でした。

池のすぐ近くに湧水がそのまま流れていってしまうところがありました。そこをスコップで少し掘り下げると、みるみる水がたまり、小さな池が誕生しました。土砂が上からふさいでしまうか、または枯れ葉で埋もれてしまいそうな気もしますが、もしミニ池として続いてくれば、まわりの環境からしてイロイロな生き物が棲みついてくれそうです。その後、掘ったミニ池がどうなったのか見についてみなくては。（はんべえ）

報告 総会を開催しました

2月25日(土)、廻田公民館で総会を開催し、2016年の活動総括と2017年の活動方針、2016年の決算、2017年の予算が承認されました。また、役員については、代表や事務局長、事務局次長、会計担当は昨年と同様ですが、外来生物防除対策を強化するために、新たに外来生物防除担当を設けることとしました。総会場で議論になったのは、以下5点です。



①新規事業「北山いきものクラブ」の運営をどのように行っていくのか

→主として20～40歳代の親とその子供を対象とし、4月～7月、9月～11月の第2土曜日の13～15時の実施を基本としていく。北川等で捕獲した魚類等を水槽で展示し、子どもの興味にまかせて一緒に魚捕りや昆虫捕りを行っていく。専用のノボリを掲げ、夏まつり時には市内の全小学校にチラシを配布していくことを検討していく。定例化していくことが何より重要である。

②外来生物防除対策をどう強化していくのか →4月以降、実施が予定されている市の委託事業(外来生物防除のためのグループを市がボランティア募集を行うなどして集め実施する)の立上げを支援していく。魅力あるグループ活動としていくために、来春に「かいぼり」を実施していくことを目標に掲げ、「北山いきものクラブ」の活動とも連動させ、生物のモニタリングを行っていくことも目標とすることなどを提案していく。

③北山わんぱく夏まつりの内容の充実化 →今年も早期に実行委員会を立ち上げていく。徐々に自前のテントを購入していく。来場者への北山公園等の解説の場を設け、来場者とのコミュニケーションを図っていくことが重要である。

④北川落差工解消プロジェクトで市民提案を行っていく →「アユが遡上する北川」を目標に、市民プランという形で落差工の解消方法の具体案について提案していく。

⑤地域への情報発信力の強化 →ホームページやブログ、フェイスブックなどそれぞれの特徴を生かし、情報発信方法の役割分担を行っていくことが重要である。

などでした。この1年も引き続き皆様方からのご支援をよろしくお願ひいたします。なお、会員の皆様には「かっぱ通信117号(本号)」と一緒に、別刷りで決算や予算、新役員についてお知らせしています。

蛙合戦

北山公園や八国山には、絶滅危惧種のカエルが数種類生息しています。幸いアズマヒキガエルはそれには含まれていませんが、滅多に目にすることはありません。アズマヒキガエルは、いわゆるガマの油で知られるガマガエルで、いぼいぼのある大きなちょっとグロテスクなカエルです。

ミミズや虫などを食べ、目の後ろから毒を分泌することもできますが、温厚なので人に害を与えるようなことはまずありません。産卵の時のみ水中に入り、普段は陸上で生活し雑木林などにいます。産卵は池などの止水で行われ、この時は多くの個体が集まり大騒ぎになるので、その様子は蛙合戦と言われています。

八国山や北山公園付近でもまれに親を見かけることはありましたが、どこで繁殖しているのだろうかと思っていたところ、この春、八国山の二つ池で規模は小さいながらも蛙合戦が見られました。八国山はアズマヒキガエルが生息していくための環境が安定していると思われるので、人知れず暮らしてきたのでしょう。しかし、オタマジャクシの頃はアメリカザリガニに捕食されてしまうので、決して安心はしてられません。どこかであつたり



り彼らに出会っても、気味悪がらずにそっと見守ってやってください。

(ビー永島)

報告 今年の外来生物防除活動をスタート



北川かっぱの会では、今年も3月より北山公園しょうちゃん池や菖蒲田にワナ(カニカゴや日光浴ワナ)を仕掛け、外来生物の捕獲を行う活動を始めました。

北山公園での捕獲活動は、今年で5年目を迎えます。3月16日～4月8日までの間に、ウシガエル成体18、同幼生(オタマジャクシ)5、アメリカザリガニ9、アカミミガメ2などの捕獲を行うことができました。

これまでの4年間は、4月末より捕獲活動を開始していましたが、今年は3月中旬より捕獲を開始した結果、意外?にも多くのウシガエルやアカミミガメを捕獲することができ驚いています。なお、4月8日からは、認定NPO法人生態工房より譲り受けた「アイカゴ」(写真)の設置を試験的にはじめました。「アイカゴ」に遮光シートを被せ、日陰を形成してウシガエルやアメリカザリガニなどを誘引することにより捕獲していく作戦を考えています。

北山公園での外来生物捕獲作業は、毎月第2土曜日の13～14時頃の外、不定期に実施する予定です(実施日時についてはかっぱブログでご確認ください)。関心のある方の参加や見学をお待ちしております。

報告 (前代表)三島さん送別会+市民普請大賞祝賀会

会が開催された2/26当日は、2月にしては比較的温暖な日で、会場である茫々亭には約30人の参加者が集まり、あちらこちらで「久しぶり」「元気だった?」「変わらないね」「大きくなったね」等、まるで同窓会の様なフレーズが飛び交っていました。

開催の挨拶では、清水代表による普請大賞受賞の報告の後、準グランプリのトロフィーが皆さんに回され、その重さを共有しました(実際に立派なガラス製のトロフィーで重かったです)。

会は北川かっぱの会創設時からのスライド上映と三島さんの当時のお話、三島さんご夫婦への花束と色紙の贈呈、集合写真の撮影等々が行われ、その後も囲炉裏や焚火を囲んでの楽しい時間が流れました。

この原稿を書くに当たり、今一度、市民普請とは何ぞやと調べたところ『市民が主導的な役割を果たしながら、地域を豊かにするために実践する公共のための取り組み』(土木学会HPより)と出てきました。かっぱの会は、この賞が出来るはるか前から、これを地で行っていたのだと、三島さんや皆さんのお話を伺って強く感じました。そして、その先頭に立たれていた三島さんが東村山を去られたことは、とても残念ですが、今後計画されるであろう、南伊豆でのかっぱの会の活動?への参加を今から楽しみにしています。



報告 北山いきものクラブをスタートしました

4/8(土)、第1回目の開催について、この活動のリーダー的存在である原さんにインタビューを行いました。—第1回目の感想なんですが来られた方の反応は？

(原)この時期の北山公園はまだ水が張っていないのですが、それでも子どもたちが網を持ってきており、その子たちは生き物に詳しい子、興味のある子が多かったように思いました。子どもさん、親御さんともに反応が良かったですね。

また、新しい試みとして手網の貸し出しを行ったのですが、これ



も好評で、我々と来場者のコミュニケーションにもつながるのによかったです。

一方、中年以上の方の反応は、一様にいろいろな魚がいること

に驚く方が多かったですね。

—今後の課題などありますか？

(原)午後1～3時の開催ですが、その準備を1時間前からするのではなく、1時から参加者と一緒に準備作業をしたりして、参加者を巻き込み仲間を増やしていくようなスタイルができたらと考えています。次回以降、多くの方の参加をお待ちしています。



北山いきものクラブ

毎月第2土曜日 13時～開催中!

北川かつばの会では、北山公園で「北山いきものクラブ」を実施しています。公園や北川で当日つかまえた生物の水槽展示を中心に、子どもたちの興味に合わせ、魚とりや虫とりなど、自然あそびをするというイベントです。

東村山市内には狭山丘陵、八国山を中心とした豊かな自然がありますが、気軽にいきものに触られる機会はなかなかありません。北山いきものクラブでは、いきものに触れる体験を通して、自然環境への興味を呼び起こしていきたいと考えています。

また、定期的実施しているしょうちゃん池の外来生物駆除とタイミングを合わせ、捕獲した生物の展示等、外来種や希少種などの啓蒙活動の場とし、さらに自然保護活動ボランティアの輪を広げていきたいと考えています。



17年4月～7月 活動スケジュール

ホは **ホ**ランティア募集 の略

別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)

または直接会員にお知らせください

夏まつり実行委員会

4/30(日)17:30～18:30頃 サンパ
ルネ 3 階・昨年の夏まつりの反省
点などを踏まえ、今年の夏まつり
の基本的な方向性について検討し
ます。多くの関係者の参加をお待
ちしております。

北山わんぱく夏まつり **困**

8月上旬予定 開催日時や遊びメニ
ューの概要について、5月初旬に
「かつぱブログ(「北川かつぱの
会」で検索)」に掲示する予定です。

定例川そうじ **困**

5/13、6/10、7/8(土)
毎月第2土曜 9:00～11:00
集合:北山小正門前

小学校土曜講座 **困**

会員皆さまのご協力をお願いします。

北山小・ヤゴ救出作戦

5/27(土)9～12時頃 北山小
雨天の場合は翌日に順延

富士見小+南台小

八国山昆虫採取

6/10(土)10:30頃～西武園側入口集
合 雨天中止

北山小・ホテル観察会

6/24(土)18～20時頃 狭山公園パ
ークセンター集合 雨天中止

富士見小+南台小+北山小

落合川へ行こう

7/1(土)10～16時頃 東久留米南沢
湧水 雨天中止(詳細は検討中)

北川かつぱの会 定例会 5/6、6/10

詳細は次頁参照

川端会議 東村山市主催

5/13(土)10:00～12:00

ふるさと歴史館 北山公園等の整
備や管理についての市、市民団体、
市民による意見交換会。どなたで
も参加可能です。

春の北川クリーンアップ **困**

5/21(日)10:00～12:00

将陣場橋、大関橋、宅部遺跡橋、
または水道橋集合;雨天中止。長
靴、手袋などを持参。

北山いきいもの倶楽部 **困**

5/13、7/8(土)毎月第2土曜

13:00～15:00頃、6/10(土)の同
時刻の開催について調整中
北川や北山公園で捕獲した魚類等
の展示と魚とりなど。雨天中止。

北山公園の外来生物駆除 **困**

毎月第2土曜 13～14時頃にワナの
仕掛けと回収・点検、小雨決行
なお、不定期での点検作業も実
施(日時はかつぱブログに掲載)

全国の川・一斉調査 **困**

6/4(日)9:00～12:00 廻田公民館
集会室集合 北川と前川の10箇
所について水質調査や水底生物調
査を実施;雨天決行。

多摩湖緑地・原風景を守る会 活動日程

5/7(第1日曜)午前9:00～

17(第3水曜)午後1:30～

20(第3土曜)午後1:30～

6/4(第1日曜)午前9:00～

畑にて維持管理作業&収穫

インフォメーション

北川かつぱの会 会議日程

5/6(土) 15:30~17:00

臨時定例会

6/10(土) 18:00~19:00頃

定例会+夏まつり実行委員会

どちらもサンパルネ3階にて

ご寄付に深謝

- 特定非営利活動法人 NPO birth 様
- 沙羅の会様
- 春のうららかウォーキングや北山いきものクラブの会場で多数の方々から寄付をいただきました。ありがとうございました。

新会員登場

藤井光洋さん(東村山市)

自分が故郷の川と生き物に育てられた様に子供達がイキイキと川で遊べるように力になりたいと思います。

北川かつぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2 両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の

生き物観察ガイド』

A2 両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

NEW! 『北川・八国山・北山公園
いきものマップ』

かつぱの会 20 周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2 両面版。

かつぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

- 会費 一般会員：年間 3000 円
支援会員：2 年間で 2000 円
学生は 2 年間で 1000 円

「かつぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かつぱの会



●かつぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 今年には桜が長い期間楽しめた。桜が散る頃は、スプリングエフェメラル(春植物)の瞬き始める季節でもある。カタクリ、ニリンソウ、エンゴサク、、、。本通信も今号は新しい執筆者を迎え少しは華やいだろうか。次号以降も大いに期待したい。(遊星歯車)

●発行:北川かつぱの会 連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp